

2011年(平成23年)5月26日 木曜日

林や小川、20年かけ育てた

全国で最も優れたビオトープ(自然に近い人工の庭)に与えられる「ビオトープ顕彰」の学校部門賞に、竜王町の竜王小が選ばれた。保護者たちが林や小川を20年以上かけて作り上げた努力がNPOが表彰

日本一と評価された。27日に表彰式が行われる。

顕彰は、造園会社や研究者でつくるNPO法人「日本ビオトープ協会」が2009年から毎年、公園などを表彰している。今年から部門賞として「学校ビ

竜王小ビオトープ日本一

保護者らの協力実る



学校ビオトープ大賞に輝いた竜王小のビオトープ(竜王町)

オトープ大賞」を新設し、竜王小を初代受賞者に選んだ。

竜王小のビオトープ

は運動場の隅にあり、広さ約800平方メートル。池には魚やトナボが群れ、季節の草花が咲く。児童たちには、理科の観察といった学習の場としてだけでなく、遊び場としても人気があり、中には「毎日行く」と話す。1988年度に卒業を担ってきた。

日本ビオトープ協会は「ビオトープを作る学校は多いが、維持が課題。そうした中で長年、活用してきた点はすばらしい」(協会事務局)と評価。竜王小の関川雅之校長は「受賞はPTAの方々の努力のたまもの」と話している。

表彰式は岡山市で開かれる。式後、関川校長と昨年度PTAの松崎良一さんが取り組みについて発表する。